								··/P <del>六·</del>
授業科目				 *保育者論			実務家教員担当科目	*保育者論 〇
 単位	2	履修		開講年次		1	開講時期	 前期
担当教員	池田	佐輪子						
	実務家	教員の立	場より、		認定こども	 5園、児童	福祉施設等で保育に	 携わる専門職である
	保育士、幼稚園教諭、保育教諭の養成を目指す。保育者として保育に必要な知識、技能、仕事への倫理							
1 55 AUC 10 5 5 5	   観をもつことが必要であることを踏まえ、その専門性について解説し理解を促す。さらに子どもの成長							
授業概要	   と保護者等の子ども育成力を支える保育者として、他者と協働していく社会的役割についても解説して							
	いく。また保育現場での実践を通して蓄積した具体的な実践をもとに、社会に求められる保育者のあり							
	方について学生と共に検討する。							
授業形態	授業方・教員に			・教員に	よる講義を行う。			
	講義 法・適				・適宜グ	グループワークやディスカッションを行う。		
				学生が達成	えすべき行	動目標		
	・教育	す・保育の	目的とそ	の担い手である保育	育者の存在	E意義を理	解している。(DP1-2	2)
	・進路選択に向け、他の職業との比較を通して、教職・保育職の職業的特徴を理解している。							
	・教贈	機観・保育	が職観の変	遷を踏まえ、今日の	の保育者は	こ求められ	る役割を理解してい	る。
	・今日の保育者に求められる基礎的な資質能力を理解している。							
	・幼児の指導及び指導以外の校務・業務を含めた保育者の職務の全体像を理解している。							
	・保育者研修の意義及び制度上の位置づけ並びに専門職として適切に職務を遂行するため生涯にわたっ							
	て学び続けることの必要性を理解している。							
標準的	・保育者に課せられる服務上及び身分上の義務及び身分保障を理解している。							
レベル	・職場	場内の保育	育者や多様 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	な専門性をもつ人を	材と効果的	りに連携・	・分担し、チームとし	て組織的に諸課題に
	対応することの重要性を理解している。							
	・専門職としての保育者の倫理観を確立し、責務の自覚が必要であることを理解している。 (DP4-1)							
	・保育者として保護者や地域社会との協働、各専門機関との協働について理解している。							
	・さまざまな事例を通して、子ども観や保育観の基礎を養う。							
	以上、	学生が遺	越すべき	行動目標に掲げた	項目につい	ハて理解し	っている。また保育者	としての専門性や倫

理想的

理観をもつことができる。

標準的なレベルに加え、保育者の責務を果たそうとする態度や、子どもを深く理解しようとする意識を レベルもつようになる。

評価方法・評価割合				
評価方法	評価割合(数値)	備考		
試験	60%	定期試験		
小テスト				
レポート	10%	最終回に振り返りレポート		
発表(口頭、プレゼンテーション)	10%			
レポート外の提出物	10%	課題に対する自分の意見を簡潔にまとめ		
レハートがの徒山初		たもの		
その他	10%	授業への積極的な参加態度や意見発表等		
カリキュラムマップ(該当 DP)・ナンバリング				

-1-	保	$\overline{z}$		.=⁄-
ж	1-		$\sim$	==

		*保育者論						
DP1	O DP2 - DP3 - DP4 O DP5 -	ナンバリン CH11101J						
		グ 1回の学習目安						
	学習課題(予習・復習)	(時間)						
テキスト		(1910)						
	* 間切られのとりって、そのとに「反案ドリーと」版 ク 返 ク に ク 、 かられのこと	4						
いく。								
	テーマ:オリエンテーション							
第1回	学生自身がもつ保育者のイメージを検討しつつ、保育者の社会的役割、制度的位置づけについて知							
	り、社会に求められる保育者としての姿をイメージする。							
	テーマ: 保育者の専門性①-保育者に求められる資質・能力							
第2回	保育者に必要な専門性について知るとともに、保育者に求められる資質や能力について、入学直後							
	の学生が考える望ましい保育者像をもとに検討する。							
第3回	テーマ:保育者の専門性②一保育者に必要な資格・免許							
715 0 11	保育の歴史をたどりながら、保育者に必要な資格・免許について理解する。							
第4回	テーマ: 保育者としての倫理観							
	「子どもの最善の利益」を守る者としての役割、もつべき倫理観について学ぶ。							
	テーマ:保育者の役割①							
第5回	クラス運営における保育のねらいの設定の重要性を理解し、学生の考える「目指す子ども像」をも							
	とに目指す子ども像について検討する。							
第6回	テーマ:保育者の役割②     子どもの発達を見据えた環境構成と生活援助について学び、クラス担任としての子どもとの関わり							
<b>弗</b> 0凹	すともの先達を兄姉えた環境構成と主活援助に プバ (字び、グラス担任としてのすともとの関わり 方を検討する。							
	テーマ:保育者の役割③							
第7回	イ・保育者の役割の   保育の1日の流れを通して、チーム保育及び職員相互の連携・協働の姿勢について理解する。							
	テーマ:保育者の役割④							
第8回	子ども・保護者・同僚・地域からの信頼を得る保育者としてのあり方について、意見交換をしなが							
	ら学ぶ。							
第9回	テーマ:保育者の義務と身分保障							
毎9凹	保育者としての責任と義務について学習し、その身分保障について理解する。							
第 10 回	テーマ:保育における現代的課題①							
N3 10 🖂	保育ニーズと園内における対応について学ぶ。							
第 11 回	テーマ:保育における現代的課題②							
	保・幼・小・関係機関との連携と現状について理解する。							
第 12 回	テーマ:実践記録から学ぶ保育者の役割①							
	記録の重要性を理解し、指導計画と環境構成について学ぶ。							
第13回	テーマ:実践記録から学ぶ保育者の役割②							
	具体的事例をもとに、受容と援助について考察する。   テーマ:実践記録から学ぶ保育者の役割③							
第 14 回	ナーマ・美成記録がら子が休月省の反割③     具体的な子どもの行動と保育者の関わりについて事例検討をする。							
	大学リスコークション   「大学では、   大学では、   大学には、   大学には、							

	"你只有啊
	テーマ:まとめと振り返り
第15回	これまでの授業を振り返り、学習した内容について確認する。
	保育者自身の成長のための自己研鑽の必要性について理解する。
テキスト	新しい保育講座②「保育者論」/汐見稔幸・大豆生田啓友編/ミネルヴァ書房
参考図	参考図書
書・教材	・平成29年度告示幼稚園教育要領(保育所保育指針)幼保連携型認定こども園教育・保育要領/
/データ	チャイルド本社
ベース・	・全国保育士会倫理綱領ガイドブック(改訂 2 版)/全国社会福祉協議会
雑誌等の	
紹介	
課題に対	・試験の解答例等についての解説は成績発表後に行います。
するフィ	・課題はその都度内容についてフィードバックしていきます。
ードバッ	
クの方法	
学生への	・ 事前に指定されたテキスト、資料等の箇所を読んだ上で授業に臨みましょう。
メッセー	・ 授業では、学生が意見や考えを発表する機会を設けています。課題に対して自分の考えをもち
ジ・コメ	つつ、他者の意見も取り入れながら相互に学び合うようにしましょう。
ント	